

## 令和元年度 指定管理者年度評価シート

## 1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市公民館
条例上の設置目的	千葉市公民館設置管理条例（昭和44年千葉市条例第23号） 第1条 この条例は、社会教育法（昭和24年法律第207号。以下「法」という。）第24条の規定に基づき、公民館の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。 （参考） 社会教育法（昭和24年6月10日法律第207号） 第20条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。 第24条 市町村が公民館を設置しようとするときは、条例で、公民館の設置及び管理に関する事項を定めなければならない。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	地域住民の生活文化向上をめざし、市民一人ひとりが豊かな人間性を培い、心豊かなまちづくりを進め、「社会が人を育み、人が社会をつくる」という好循環を目指していく。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	地域のニーズに対応した社会教育事業の実施や施設の貸出を行う。 社会教育施設としての機能向上はもちろんのこと、幅広い市民の多様な利用に供する地域の総合交流拠点として充実を図る。
制度導入により見込まれる効果	市民サービスの向上により、さらに多くの市民に施設を利用してもらうという効果を見込んでいる。
成果指標※	① 主催講座の増加数 ② 公民館の施設稼働率（用途・利用時間に制約が大きい調理室を除く）
数値目標※	① 平成28年度主催講座数（763講座）から300講座以上増／指定期間最終年度 ② 52.0%以上／指定期間最終年度
所管課	千葉市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

## 2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市教育振興財団
構成団体 （共同事業体の場合）	
主たる事業所の所在地 （代表団体）	千葉県千葉市中央区弁天3丁目7-7
指定期間	平成30年4月1日～ 令和5年3月31日（5年）
選定方法	非公募
非公募理由	「指定管理者選定評価委員会」において、申請内容を管理運営の基準等に照らし審査した結果、公益財団法人千葉市教育振興財団は、千葉市公民館の管理を適切かつ確実に行うことができるものと認められたため。 なお、本施設の管理運営にあたっては、公平性、安定性等が強く求められるとともに、教育の専門性を有し、生涯学習センター等の管理運営が良好で、市民に多様で専門的な講座を実施可能な公益財団法人千葉市教育振興財団が管理運営を行う必要があるため非公募とした。
管理運営費の財源	指定管理料

### 3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	R1年度実績	達成率※
主催講座の増加数	平成28年度主催講座数(763講座)から300講座以上増	1,085講座	102.1%
公民館の施設稼働率(用途・利用時間に制約が大きい調理室を除く)	52.0%以上	46.3%	89.0%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	○年度実績

#### 4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	R1年度	【参考】 H30年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
指定管理料	実績	1,296,048	1,287,223	実績－計画	△ 915	指定管理業務仕様変更による減
	計画	1,296,963	1,287,223	計画－提案	△ 6,200	
	提案	1,303,163	1,290,112			
利用料金収入	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
その他収入	実績	2,830	2,824	実績－計画	90	
	計画	2,740	2,737	計画－提案	0	
	提案	2,740	2,737			
合計	実績	1,298,878	1,290,047	実績－計画	△ 825	
	計画	1,299,703	1,289,960	計画－提案	△ 6,200	
	提案	1,305,903	1,292,849			

イ 支出

(単位：千円)

費目	R1年度	【参考】 H30年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
人件費	実績	732,096	722,360	実績－計画	△ 9,736	提案に基づき計画の見積もりをしたため
	計画	811,924	815,496	計画－提案	△ 5,520	
	提案	817,444	818,385			
事務費	実績	106,869	92,628	実績－計画	△ 3,571	租税公課の減
	計画	110,440	102,993	計画－提案	△ 1,626	
	提案	112,066	103,754			
管理費	実績	262,371	250,903	実績－計画	82,245	提案に基づき計画の見積もりをしたため
	計画	180,126	178,279	計画－提案	1,626	
	提案	178,500	177,518			
委託費	実績	144,896	161,931	実績－計画	△ 19,343	提案に基づき計画の見積もりをしたため
	計画	164,239	160,753	計画－提案	△ 680	
	提案	164,919	160,753			
その他事業費	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
間接費	実績	36,184	34,222	実績－計画	3,210	一般管理費配賦割合の増
	計画	32,974	32,439	計画－提案	0	
	提案	32,974	32,439			
合計	実績	1,282,416	1,262,044	実績－計画	△ 17,287	
	計画	1,299,703	1,289,960	計画－提案	△ 6,200	
	提案	1,305,903	1,292,849			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

公益法人会計基準に則り6つに区分し、本部経費については、従事割合等の配賦基準により各会計に配賦計上。法人会計に配賦した費用から基本財産、特定資産の運用益等の収益を差し引いた差額を、法人会計以外の5つの会計へ配賦した額の割合で按分し、法人会計の財源として一般管理費に計上する。

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		R1年度	【参考】 H30年度
自主事業収入	実績	0	0
その他収入	実績	0	0
合計	実績	0	0

イ 支出

(単位：千円)

費目		R1年度	【参考】 H30年度
人件費	実績	0	0
事務費	実績	104	114
管理費	実績	0	0
委託費	実績	0	0
使用料	実績	0	0
事業費	実績	0	0
利用料金	実績	0	0
その他事業費	実績	0	0
間接費	実績	0	0
合計	実績	104	114

間接費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		R1年度	【参考】H30年度
必須業務	収入合計	1,298,878	1,290,047
	支出合計	1,282,416	1,262,044
	収支	16,462	28,003
自主事業	収入合計	0	0
	支出合計	104	114
	収支	△104	△114
総収入		1,298,878	1,290,047
総支出		1,282,520	1,262,158
収支		16,358	27,889
利益の還元額			
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
平成28年度主催講座数（763講座）から300講座以上増	C	主催講座数実績 1,085講座
施設稼働率52.0%の達成	C	施設稼働率実績 46.3%

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。  
A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）  
B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）  
C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満  
D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満  
E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	提案1,303,163千円、実績1,296,048千円、削減7,115千円

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
- B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
- C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
- (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
- ：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
<b>1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理</b>	C	C	
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守 リスク管理・緊急時対応			
<b>2 施設管理能力</b>			
<b>(1) 人的組織体制の充実</b>	C	B	職員相互による情報交換を活発に行い、運営ノウハウを蓄積した。また、社会教育主事の資格取得のための助成を行い、4人が取得した。
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
<b>(2) 施設の維持管理業務</b>	B	C	施設・設備の修繕を、積極的に実施した。
施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
<b>3 施設の効用の発揮</b>			
<b>(1) 幅広い施設利用の確保</b>	C	B	黒砂公民館・宮崎公民館で、ツイッターやフェイスブックを使用して、講座情報の提供を行った。生涯学習相談が増えた。(H30 82件からR1 652件)
開館時間・休館日 利用料金設定・減免 利用促進の方策			
<b>(2) 利用者サービスの充実</b>			
利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング	C	C	
<b>(3) 施設における事業の実施</b>	B	C	講座・事業の実施数を増やし、1,085講座実施した。図書室では、室内の環境改善や図書資料整備を着実にいった。
施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施			
<b>4 その他</b>			
市内業者の育成 市内雇用への配慮 障害者雇用の確保 施設職員の雇用の安定化への配慮	C	C	

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 千葉市教育委員会指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
公民館利用者で構成される「運営懇談会」の年2回以上の開催との提案に対し、28館は2回実施したものの、19館では1回の開催にとどまった。	30年度	全館で年2回以上の開催を目指したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、やむなく中止した館もあった。しかしながら、書面での代替開催を極力実施した。

## 6 利用者ニーズ・満足度等の把握

### (1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	アンケートの配架・配布			
	回答者数	2,072人			
質問項目	第1 普段、公民館をどのように利用されているか				
	第2 職員の対応について				
結果	第1 普段、公民館をどのように利用されているか (複数回答可)				
	項番	項目	人数		
A	クラブ・サークル会員として活動	1,764人			
B	公民館主催の講座・事業への参加	1,107人			
C	図書の利用	797人			
D	町内自治会その他の地域における団体での利用	462人			
結果	第2 職員の対応について				
	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
	82.5%	15.9%	1%	0.3%	0.3%
(利用者意見)					
○対応が親切・丁寧である					
○挨拶やコミュニケーション等に満足している					
結果	第3 部屋や備品等の状況について				
	満足	やや満足	やや不満	不満	その他
	58%	30%	9%	2%	1%
(利用者意見)					
○きれい、整理・整頓・清掃に満足している					
○テーブル・椅子が新しくなった、整備された					
結果	第4 平成30年4月の指定管理開始以降の公民館についてどのように感じているか				
	全体として良くなった (または「やや良くなった」)	あまり変わらない	全体として悪くなった (または「やや悪くなった」)		
	53%	46%	1%		
(利用者意見)					
○話をよく聞いてくれる・聞きやすいなど、職員の対応が良くなった					
○施設の雰囲気が明るくなった					

### (2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
災害時に限らず、障害をもつ方々、高齢の方々が安心して使用（特に避難時）できるよう施設の改善を進めてほしい。（トイレ洋式化・スロープなど）	予算の関係もあり、要望すべて応えることは難しい状況である。しかし、要望は確実に市へ伝え、応えられるようにしていくことを伝えた。

## 7 総括

### (1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	所見	<p>指定管理2年目となり、1年目の評価を受けて改善に努めながら、安定した運営を行うことができた。各事業において、1年目の実施状況や、公民館アンケートの結果を踏まえ、講座数の増や図書室の環境整備、施設の修繕等を進めることができた。</p> <p>また、台風15号、19号、21号の接近の際に、それぞれ避難所を開設し、避難者の受け入れを行った。避難所運営で生じた課題については、検証委員会を設置し、検証を行うとともに報告書を作成のうえ千葉市へ提出し、次の災害に備えることとした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、3月は講座の中止・臨時休館・一部利用制限等の対応を迫られたが、利用者に対し丁寧な説明を心掛け、ご理解いただけるように努めた。</p>
----------	---	----	---

### (2) 市による評価

総括 評価	C	所見	<p>前年度の評価において基準に満たなかった公民館懇談会の開催については改善が見られるものの、一部の公民館では新型コロナ感染症の影響により開催に至らなかった。この他については、市が指定管理者に求める水準に則した、良好な管理運営が行われていた。</p> <p>①社会教育事業 平成28年度講座数(763講座)から300講座以上の実施を目標としている中で、平成30年度は972講座、令和元年度は1,085講座と着実に実施し、幅広い学習ニーズに応えるため、関係機関と連携・協力をを行い、講座を実施した。</p> <p>②図書室管理運営事業 施設の特徴や地域の特性を踏まえた資料の選定及び収集を計画的に行い、市民へ提供した。また、資料の適切な整理・保存に努めた。</p> <p>③施設管理・維持管理 公民館保全マニュアルや点検報告書等に基づき、適切に実施していた。また、突発的な修繕に対しても適切に対応した。</p> <p>④自主事業 公民館をPRするため、野菜市in公民館を開催し、千葉市で収穫できる野菜の解説等のパネル展示を行うなど、食育の推進に努めた。また、財団職員の専門性を活かし、公民館が千葉市美術館を会場として、千葉市の美術作品の紹介・解説を行ったり、加曽利貝塚を中心とした市内遺物等を写真パネルでの展示を行った。</p>
----------	---	----	---

#### 【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

### (3) 教育委員会事務局指定管理者選定評価委員会の意見

<p>市による評価はおおむね妥当であると認める。</p> <p>また、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するという観点から、提出された財務諸表等から判断した結果、財務に関する事項で特記するものはないと認める。</p> <p>その他、次の事項を本委員会の意見とする。</p> <p>ア 避難所としての役割があることも含め、公民館の老朽化や設備に対する改善などの整備をできるだけ迅速に進めていただきたい。</p> <p>イ 地域の社会教育を高めるという観点から、公民館を利用する機会が少ない若い世代に対しても魅力的となる講座の内容や適正な回数を検討した上で、SNSなどを活用して周知を図られたい。</p> <p>ウ 新型コロナウイルス感染拡大を受け、オンラインによる情報発信及び講座やプログラム等の配信を進めていただきたい。</p> <p>エ 令和2年度の評価を行う際は、新型コロナウイルス感染拡大による影響を考慮していただきたい。</p>
--